

# 経営比較分析表

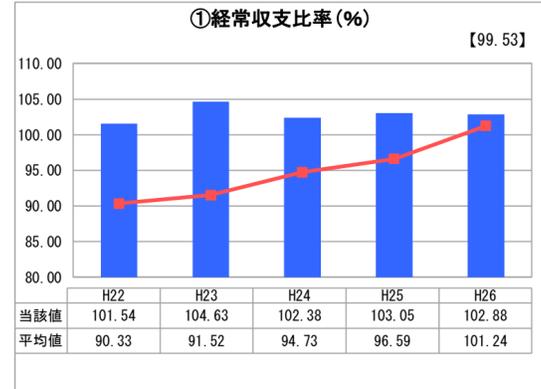
滋賀県 大津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	50.76	1.50	82.81	2,878

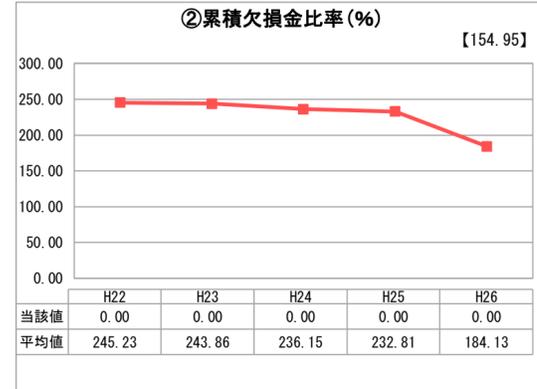
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
342,832	464.51	738.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,117	2.08	2,460.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

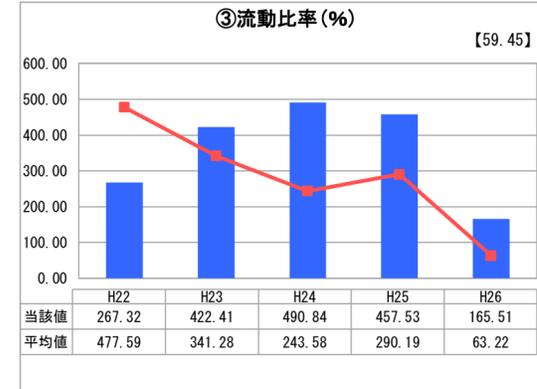
## 1. 経営の健全性・効率性



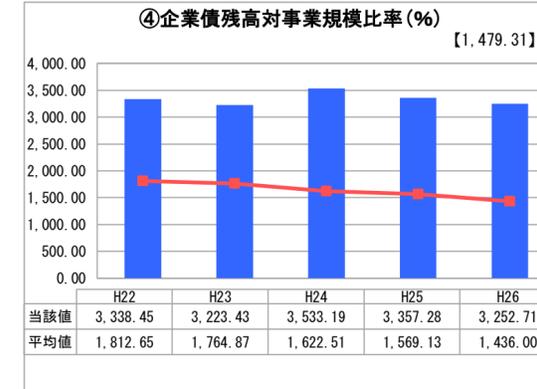
「経常損益」



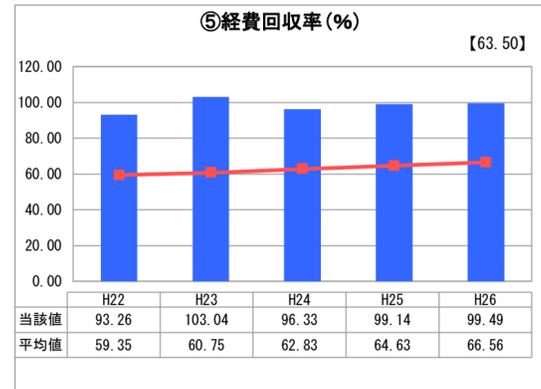
「累積欠損」



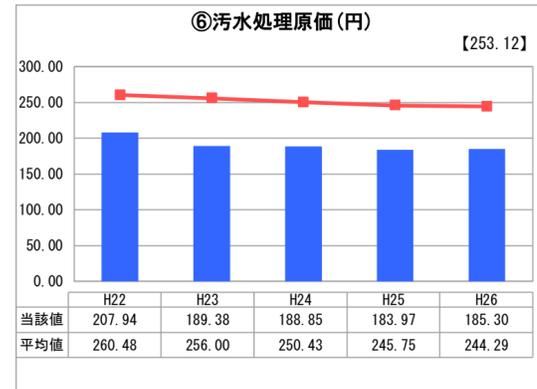
「支払能力」



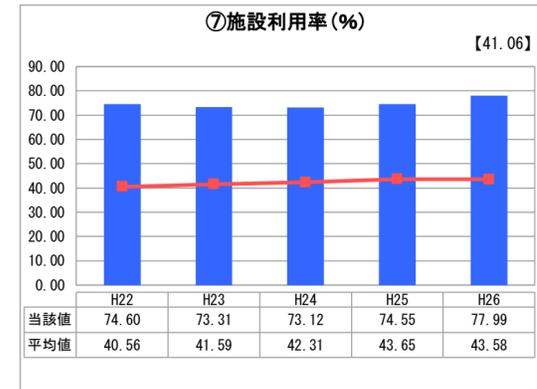
「債務残高」



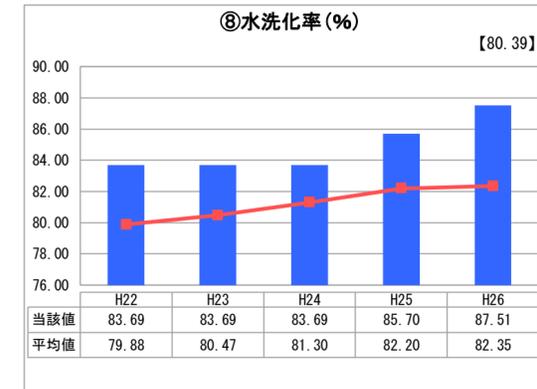
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

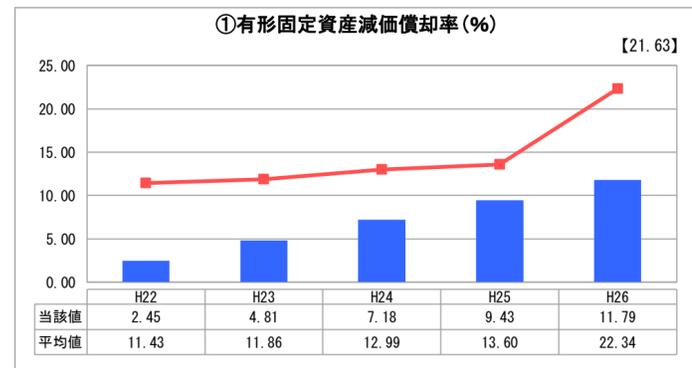


「施設の効率性」

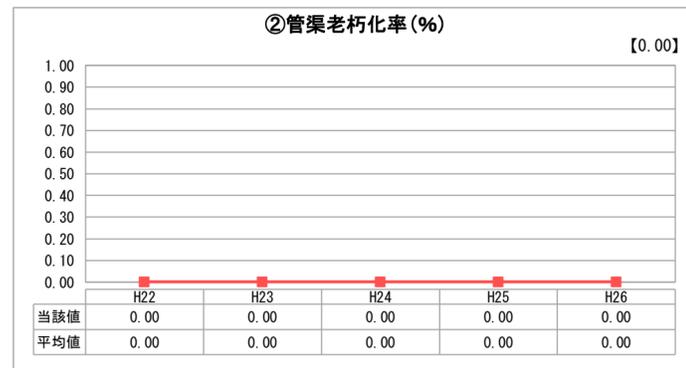


「使用料対象の捕捉」

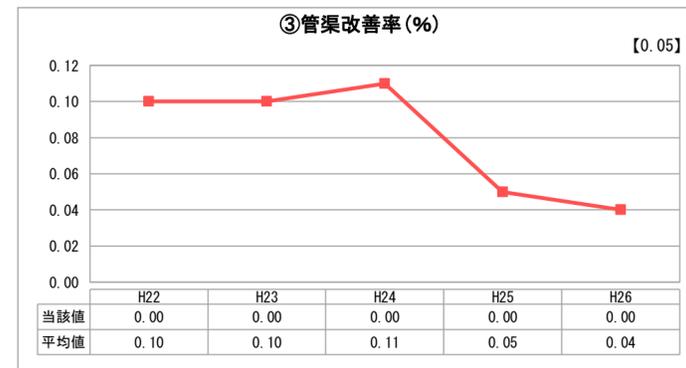
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す数値のうち、①経常収支比率及び③流動比率については100%を上回っているものの、④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均と比較して大幅に数値が高くなっていることから、引き続き企業債残高の縮減に努めていく必要がある。経営の効率性については、⑥汚水処理原価が年々減少しており、汚水処理費用の縮減が図られていること、また⑧水洗化率は増加傾向にあり、下水道への接続も着実になされていることから、効率性は比較的高いと評価できる。しかしながら、⑤経費回収率については100%をわずかに下回っており、使用料収入でもって経費が回収できていないことから、100%以上を目指すべく今後も引き続き費用の縮減等の経営努力を行っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、年々数値が高くなっているものの、類似団体平均を大幅に下回っており、老朽化の度合いは比較的小さくなっている。

### 全体総括

経営の健全性や効率性の更なる向上に向け、投資の適正規模を考慮しながら、引き続き経費の縮減等の経営努力を行っていく必要がある。また、施設の老朽化対策については、現在策定中のアセットマネジメントに基づき、費用の平準化に努めながら計画的かつ効率的に改築更新・修繕等に取り組んでいく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。